

第1回新外航海運政策検討会議事概要

1. 日時

平成18年3月17日(金) 15:00～17:00

2. 場所

国土交通省特別会議室(2階)

3. 議事

- (1) 外航海運の現状について
- (2) 今後の進め方

4. 議事概要

事務局から「外航海運の現状について」説明が行われ、委員からは以下のような質問及び意見があった。

【委員からの主な質問、意見等】

- ・我が国商船隊の三国間輸送に関し、定期と不定期では特徴が異なると思われるので、定期と不定期に区分してデータを示してほしい。
- ・三大バルク貨物の需給見通しと原油の需給見通しは、どのような根拠に基づくものか。
- ・外航船社はM & Aを頻繁に行っているようだが、一般的な認識として定期船社には「 国の船社」というような国への帰属意識のようなものはあるのか。
- ・E P Aにより従来の友好通商航海条約の海運分野ではカバーされない部分をカバーできる可能性があるのか。
- ・海運自由の原則の中で、何故外航海運政策が必要なのか。
- ・国際船舶が何故増えなかったのか、原因を検証した上で問題を整理していく必要があるのではないか。